

社会学文章表現研究Ⅰ

科目ナンバリング SOC-301

選択 2単位

阪本 博志

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、本学科のディプロマポリシーのうち、「調査・研究の成果をもとに論理的な主張を展開できる」をねらいとするものである。

「論理的な主張を展開できる」ことは、卒業研究において重要であるのはもちろんのこと、大学卒業後においても重要な力である。この授業では、文章の書き方からレポートや論文の構成にいたる方法を受講者・教員がいっしょに学びあうとともに、実際にその方法をもちいることを試みる。

授業の具体的な進行は、次のとおりである。

I では、新書・文庫を計2冊読む。受講者には、毎回の講読シートへの記入とその内容を授業中に発言することが求められる。この2冊を読み終えたあと、1冊目の新書の書評を執筆する。執筆にあたっては、添削指導をおこなう。こうして作成したレポートを提出する。

II では、文庫を1冊読む。受講者には、毎回の講読シートへの記入とその内容を授業中に発言することが求められる。そのうえで、大学に入学してこれまでに書いたレポート(この授業の担当教員の授業以外も含む)を持参し、どのようによりよくできるのかを、各自検討する。その検討結果をレポートにまとめ、提出する。

2. 授業の到達目標

- ①個人的な意見と根拠に基づく知識との違いを理解したうえで、自分の考えを表明することができる。
- ②文献を正しく引用できる力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(講読シートの提出) 60%

期末レポート 40%

4. 教科書・参考文献

教科書

梅棹忠夫 『知的生産の技術』 岩波新書

鶴見俊輔 『文章心得帖』 ちくま学芸文庫

5. 準備学修の内容

下記「各回の授業内容」で指定されている分量ずつテキストを読み、そのポイント等を講読シートに記入する。

6. その他履修上の注意事項

- ①書評の作成方法については、担当教員自身がどのようにおこなっているのかを、授業中に説明する。これを参考にしていきたい。
- ②受講人数等によって、内容や進度の調整をすることがある。
- ③『知的生産の技術』は、1969年に刊行されたあと、2015年に改版が発行されている。テキストの入手においては、2015年の改版以降に出版されたものを購入されたい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 『知的生産の技術』「はじめに」・第1章 |
| 【第3回】 | 『知的生産の技術』第2章・第3章 |
| 【第4回】 | 『知的生産の技術』第4章・第5章 |
| 【第5回】 | 『知的生産の技術』第6章・第7章 |
| 【第6回】 | 『知的生産の技術』第8章・第9章 |
| 【第7回】 | 『知的生産の技術』第10章・第11章 |
| 【第8回】 | 『知的生産の技術』のまとめ |
| 【第9回】 | 『文章心得帖』第1章 |
| 【第10回】 | 『文章心得帖』第2章 |
| 【第11回】 | 『文章心得帖』第3章 |
| 【第12回】 | 『文章心得帖』第4章 |
| 【第13回】 | 『文章心得帖』第5章 |
| 【第14回】 | 書評の作成と添削 |
| 【第15回】 | これまでのまとめ等(オンライン) |